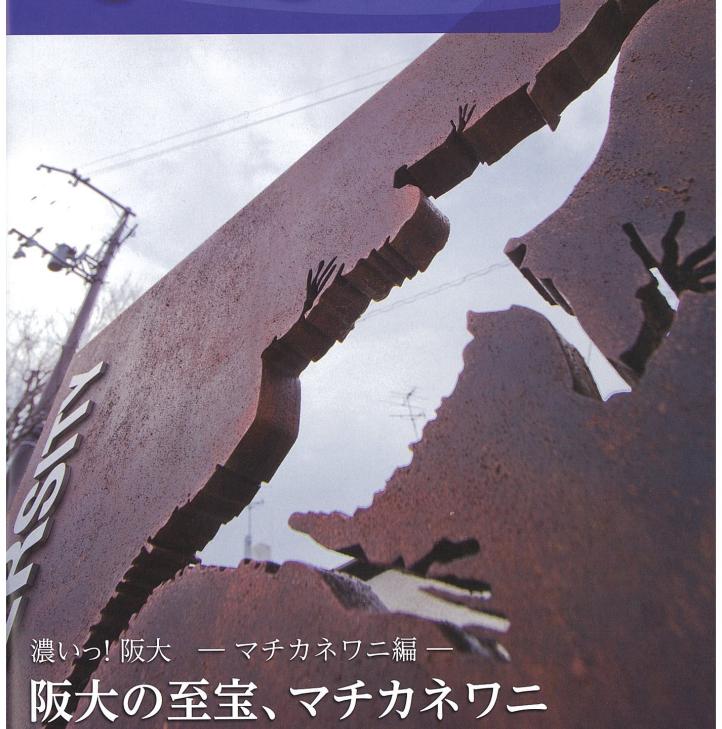


阪大 NOW



濃いっ! 阪大 —マチカネワニ編—
阪大の至宝、マチカネワニ

表紙



役員室だより

大型放射光施設SPring-8、X線自由レーザー施設SACLAを訪問

3月20日、平野俊夫総長以下、理事、副学長、監事、SPring-8とSACLA(SPring-8 Angstrom Compact Free Electron Laser)で実験を行っている学内グループの代表者ら、総勢26名が、大型放射光施設SPring-8とX線自由電子レーザー施設SACLAを訪問しました。

SPring-8とSACLAは、理化学研究所によって運営されており、理化学研究所放射光科学総合研究センターの石川哲也センター長をはじめとする理研所員、SPring-8の運転・管理を行う財団法人高輝度光科学センター(JASRI)の職員と懇談しました。

冒頭、平野総長より、SPring-8とSACLAは大阪大学の学術研究の発展に多大な貢献をしており、それを可能にしているのは放射光科学総合研究センターとJASRIの全面的な支援と協力のお陰であると、感謝の言葉が述べられました。さらに、両施設と大阪大学とのより密接でスムーズな協力関係を築くために、SPring-8キャンパスに大阪大学の個別の利用者グループを取りまとめる拠点を作るという構想について意見交換をし、設立に向けて積極的に検討することになりました。

懇談会の後、施設見学を行い、蛋白質超分子構造解析を行っている蛋白質研究所のX線結晶構造解析装置、核物理研究センターのレーザー電子光を用いたクォーク核分光装置、SACLAに隣接して設置されている未来戦略機構・光量子科学研究部門のパワーレーザー装置、工学研究科の山内和人教授が開発されたOsakaミラーと呼ばれているX線光学用ミラー、SACLAなどの説明を受け、大阪大学の多彩で高度な研究が展開されているとの実感を持ち、訪問を終えました。

理事・副学長 相本 三郎